



スクールレポート

SCHOOL REPORT 61

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「夢の教室」と「ボディボード体験学習」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原中部小学校「夢の教室」

絶対にあきらめない「強い心」を

今年度、田原市内の5年生の教室に、プロの選手やそのOBなどが“夢先生”として来校し、ゲームとトークの90分間の授業をする「夢の教室」が開催されています。

田原中部小学校には、元メジャーリーガー（ロイヤルズなどに所属）のマック鈴木さんと、元Jリーガー（ジェフ市原に所属）の式田高義さんに来ていただきました。

約30分のゲーム（仲間と協力して課題を解決する活動）では、子どもたちと一緒に夢先生も汗を流し、作戦を考えました。トークの時間では、マック鈴木さんが「努力し続けることで、周りが認め支えてくれる」式田さんからは「目標を持ち絶対にあきらめない」というメッセージを、それぞれの自分の経験から語ってくれました。

子どもたちは「プロ野球選手になりたい。そのために、練習を一生懸命やりたい」「学校の先生になって、小学生や中学生に英語を教えたい」と思い思いに自分の夢を発表しました。大きく夢を膨らませた子どもたちの瞳は、とても輝いていました。



●子どもたちに経験談を語るマック鈴木さん



●将来の夢について話を聞く式田高義さん



●上手に波を乗り越えす6年生たち



●協力いただいた地元の皆さんと一緒に

赤羽根小学校「ボディボード体験学習」 地元の方とふれあい、地域の自然を知る

7月22日（月）赤羽根漁港東堤防の東海岸で、4～6年生67名が、ボディボード体験学習を行いました。これは、地元漁業協同組合やサーフィン協会の方の協力により行っているもので、10年以上続いている教室です。

当日は快晴の夏空。子どもたちは、初めにサーフィン協会の方から注意事項を受け、いざ体験開始。子ども一人に、一人の大人がサポートして体験を行います。波は弱めでしたが、小学生にとっては充分楽しめる波でした。初体験の4年生は恐る恐るボードを操作していましたが、次第に慣れてくると、とびきりの笑顔で波に乗っていました。体験が3回目となる6年生は、だれが一番長く波に乗れるか夢中になって競争していました。最後に、地元プロサーファーの方の模範演技を見た子どもたちは、その多彩な妙技に歓声をあげていました。

小麦色に日焼けした子どもたちの姿を見て、一段とたくましさを感じた一日でした。